



ほうらい

教育目標

- かしこく
- やさしく
- たくましく

一関市立猿沢小学校
令和5年11月 1日
第30号 文責：亀丸

受け継がれる伊勢神楽

昨年度と同様に学習発表会で5年生が伊勢神楽を披露しました。5年生の発表はいかがだったでしょうか。一関市夏祭りや敬老会で伊勢神楽を披露した6年生に負けない大きな動きの堂々とした舞いでした。学習発表会で伊勢神楽を披露する5年生からは、「伊勢神楽をしっかりと引き継いで来年は最上級生として頑張るぞ。」という頼もしさのようなものを感じました。

今年度も伊勢神楽保存会の皆様には、舞いの指導だけではなく保護者への衣装や着付けの講習、そして本番の着付けや笛の演奏とたくさんご協力いただきました。子ども達が地域を学んだり、地域で传承されている郷土芸能を学んだりすることは、ふるさとのよさを感じとり、いつまでもふるさを思い続ける人間に成長するためにとっても良いことだと考えます。本校はこれからも復興教育の観点から地域学習の充実に力を入れています。保護者の皆様には衣装の準備にご協力いただきました。大変ありがとうございました。



たてわり班遊び

10月11日(水)にたてわり班遊びを実施しました。前回は陸上競技大会翌日のたてわりランチの後、たてわり班遊びを実施しましたが、あいにくの天気のため、外で活動することができませんでした。

今回は天気にも恵まれ、すべての班が外で遊ぶことができました。前回同様6年生のリーダーが中心となって活動内容を決め、みんなで仲良く遊ぶことができました。中には複数の班が合わさって活動する姿も見られました。

たてわり班で遊ぶことが大好きな子ども達が多く、校庭に出る前からはしゃいでいる子も多く、とても賑やかな昇降口でした。校庭に出てからは思い思いの場所に集合し、たてわり遊びが始まりました。

「おにごっこ」や「どろけい(泥棒と警察)」を時間いっぱい楽しみました。低学年のお世話をする高学年の姿や、高学年のお兄さんお姉さんを慕って、ずっとそばにいる低学年の姿がたくさん見られました。

このような活動を通して、子ども達の自主性を高めるとともに、学年を越えた子ども達同士の絆づくりを進めていきたいと思えます。

